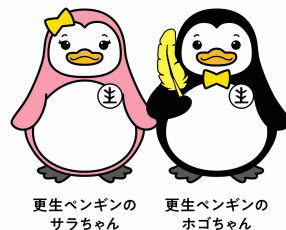


#生きぐらさを 生きていく。



7月は“社会を明るくする運動” 強調月間・ 再犯防止啓発月間です

“社会を明るくする運動”は、
すべての国民が、
犯罪や非行の防止と
犯罪や非行をした人たちの
更生について理解を深め、
それぞれの立場で力を合わせ、
犯罪や非行のない
安全で安心な地域社会を
築くための全国的な運動です。



“社会を明るくする運動”に参加しよう！

- 更生保護についてもっと知りたい方は

- お問い合わせはお近くの保護観察所まで

- 更生保護ボランティアについては

法務省保護局
公式Twitter
アカウント

法務省
公式YouTube
チャンネル

法務省保護局
公式Instagram
アカウント



犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

第73回 社会を明るくする運動



生きづらさに寄り添い 立ち直りを支援する方法は様々です

**理解を深め
見守る**

自らの過去と向き合い、
罪を償って立ち直ろうとして
いる人たちへのご理解を、
よろしく願います。

SNSをフォロー拡散

法務省保護局のツイッター
やインスタグラム等で、
立ち直り支援に関する様々
な発信を行っています。裏
面で公式SNSをご紹介しますので、ぜひチェ
ックしてみてください。

#立ち直り
応援基金
#社明73
#生きづらさを生きていく

**寄付で
応援する**

立ち直り応援基金は、
一口1000円からインタ
ーネットで誰でも気軽に寄
付をすることが出来る仕組
みです。寄付金は、全国の
草の根の立ち直り支援活動
に大切に使われます。



立ち直れる。その思いをツナグ。
立ち直り応援基金

イベントに参加する



**立ち直りを
担い手になる**

**立ち直りを
一番近くで見守る
保護司**

保護司は、犯罪や非行を
した人の立ち直りを地域で
支えるボランティアです。
地域の事情などをよく理解
し、保護観察官と協働して、
保護観察を受けている人に
面接を通じた助言や指導を
行い、受刑者等が社会復帰
する環境への働き掛けなど
も行っていきます。全国に約
4万7000人います。



更生保護施設

更生保護施設は、刑務所
などを出た後、帰る場所が
ない人たちに宿泊場所や食
事を提供し、自立に向けた
指導や援助を行う民間の施
設です。自立準備ホームは、
更生保護施設以外に宿泊場
所を提供するNPO法人等
が営む施設です。

更生保護女性会

更生保護女性会は、地域
の犯罪予防活動や更生支援
を行う女性のボランティア
です。非行問題を考えるミ
ニ集会のほか、子育て支援
活動など、多様な活動をし
ていきます。全国に13万人い
ます。



**若い人の視点で
立ち直り支援に参加
BBS会**

様々な問題を抱える少年
たちと、兄や姉のように身
近な立場で接することで、
少年たちの成長を助ける青
年ボランティアです。全国
に約4400人います。



ほかにも、農福事業者、
自助グループなど、
立ち直り支援の担い手は様々です。
そして、食育、スポーツ、
アウトドアだっていい。
立ち直り支援は、
多様な支え合いを必要としています。

**「就労」と「見守り」の
両方を担う
協力雇用主**



犯罪や非行をした人の立
ち直りには、働くことが大
変重要です。協力雇用主は、
犯罪や非行をした人の自立
や社会復帰に協力すること
を目的として、彼らを雇用
しようとする事業主です。
全国に約2万5000事業
者がいます。

一人になるのが嫌だった。
孤立するのが怖かった。
誰かといないと、不安に押しつぶされそうで。

仲間たちに誘われた時、断れなかった。
自分にとっては唯一で、大切なものだったから、
歪な繋がりにすがりついた。

この街に帰ってきて一年。
色んな人に囲まれて、いま、自分は働いている。

元気がないと気づいてくれる食堂のおばちゃん。
失敗を笑い飛ばしてくれる先輩。
仕事の楽しさも厳しさも教えてくれる社長。
自分が罪を犯しても、見捨てなかった幼馴染。

たくさんの顔が思い浮かぶ。
それにすごく、嬉しくなった。

一人でなんでもできるようになることだけが
自立じゃない。
困ったら、誰かを頼ったっていい。

きちんと一人、でも孤独じゃない。

#生きぐらさを 生きていく。

